



立志 栗中だより

学校だより
足立区立栗島中学校
校長 豊崎 努
令和5年5月9日
<http://www.adachi.ed.jp/adku>

『「目標」というもの』

校長 豊崎 努

大型連休が終わりました。カレンダーに関係なく働いていた方もいらっしゃると思いますが、多くの人たちには忙しい日常がまた戻ってきたというところだと思います。

栗島中学校では、5月から6月は校外学習や運動会など学校行事が続きます。予定を確認して見通しをもっていかないと、ただ時間に流されていくだけになってしまいます。

毎日無駄にせずにごくごく進んでいくためには、やはり「目標」をもつことが大切です。ただ、「大切だ」ということは分かっていても、なかなか具体的な「目標」をもって、そのための努力を続けることは簡単ではないのかもしれませんが…。

「目標」と同じような言葉に「目的」があります。なんとなく区別がついているようですが、改めてそれぞれの意味するところを整理してみたいと思います。

「目標」と「目的」は「(目標・目的)に向かって進む」というような、目指すものという意味では似ている言葉です。しかし、「旅の目的地」とはいいますが「旅の目標地」とはいいません。「目標点数」とはいいませんが「目的点数」とはいいません。辞書(大辞泉)によると、「目標」は「1 そこに行き着くように、またそこから外れないように目印とするもの。3 行動を進めるにあたって、実現・達成を目指す水準」とあり、「目的」とは、「1 実現しようとしてめざす事柄。行動のねらい。めあて」とあります。「目標」の1にある「そこ」は「目的」を指すものと読めます。

これを学校に当てはめると、学校教育の目的は「人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民を育成」(教育基本法第一条)することであって、教科や道徳などの授業や行事、部活動などの教育活動は、教育の目的を実現するための一つ一つの具体的な目標だということです。そして、ひとり一人にとっての「目的」は「よりよく生きる」とか「幸せに生きる」というものであって、「目標」はそこを目指すために「学力をつける」や「体力をつける」であったり「お金を稼ぐ」であったりするのでしょうか。ここで大切なことは「学力をつける」ことも「体力をつける」ことも「お金を稼ぐ」ことも、「目的」を目指すための具体的な「目標(小さなステップ・マイルストーン)」であり、それ自体が「目的」ではないということです。これを間違えると本当に望んでいるものには近づいていきません。ロールプレイングゲームでいえば「魔王を倒すこと」は「世界平和」という目的を達成するための目標であり、「魔王を倒す」という目標に向かって「経験値を上げる」ことや「強い武器を手に入れる」ことがさらに目標となってきます。

だれにも大きく大切な「生きる目的」があります。それを見失わずにいられば、小さくても具体的な「目標」が生まれてくるはずですが、失敗や思い通りにいかないことも、「目的」を目指すためにクリアする「目標」の一つと捉えられるような気がします。

授業も行事も充実していくこれからの時期、目指したい自分の姿はどのようなもので、自分の望むものは何か、何を成し遂げたいのかに気づき、小さな目標と小さな達成感を積み重ねながら、自分を育て続けてくれることを願っています。

○ ● 令和5年度 着任式・前期始業式・第43回入学式 ● ○

令和5年度着任式では、今年度はたくさんの新しい先生方を迎え、その後行われた始業式では、2年生、3年生に進級した生徒たちが、一回り成長した姿をみせてくれ、新年度を気持ちよくスタートさせました。

令和5年度第43回入学式では、新入生73名(1組30名、2組31名、5組12名)を迎え、全校生徒251名で、スタートしました。今年度の入学式は、新型コロナウイルス感染症対策が緩和されたため、3年ぶりに限られた人数ではありましたが、ご来賓の方々にもお越しいただくことができました。また、在校生も全員が入学式に参列することができ、栗島中学校の教職員一同全員で新入生の門出を祝うことができました。

入場してくる新入生は緊張した面持ちではありましたが、新入生の呼名に対して、大きな立派な返事でこたえていました。また、新入生代表の言葉をつとめてくれた染谷珠那さんが、中学校生活に向けて決意をしっかりと話してくれました。そして、在校生代表として、梨本詩子さんが新入生に向けて、学校生活を自分の言葉で伝えてくれ、栗島中学校の一員として暖かく迎える気持ちを伝えてくれました。

○● 入学式に参列して下さったご来賓の方々 ●○



★ ☆ 新入生歓迎会 ☆ ★

4月10日(月)に、新入生歓迎会を行いました。

各専門委員会の委員長が、委員会でのどのような仕事をしているのかを自分の言葉でしっかりと説明しました。また、生徒会本部役員が、栗島中学校の1日の流れをスライドにまとめ、クイズを出しながら、学校生活の様子を紹介しました。1年生は、初めて先輩と対面して、緊張した面持ちでしたが、学校紹介を通して中学校生活を知ることができ、クイズを通して、とても和やかな雰囲気となりました。



□ ■ 部活動紹介 ■ □

4月17日(月)に、1年生に向けて部活動紹介を行いました。

活動内容・活動日・顧問の紹介と活動の様子を実演したり、わかりやすく説明をしたりしました。1年生と部活動に所属している2、3年生が一体となった良い会となりました。

1年生も、ただ見ているだけではなく、実際にボールを使ってシュートして対決したり、フライングディスクを投げたり、野球のバッティングをしたりと、とても楽しみながら参加していました。





□ ■ 令和5年度前期専門委員会、認証式 ■ □

4月19日(水)に令和5年度前期専門委員会、委員長の認証式を行いました。委員長となった生徒の1人1人がしっかりと決意をもったのぞんでいる様子がありました。午後に第1回目を行い、全学年の委員が集まって、自己紹介をし、活動内容を確認しました。栗島中学校をさらによくしていくために、それぞれの委員会で、生徒達が自主的に活動を進めていきます。



□ ■ 2年生から1年生へ 立志紹介 ■ □

4月25日(火)に、栗島中学校の伝統として行っている立志の活動について、2年生から1年生に説明と紹介を行いました。昨年度行ったグループ立志の発表を事前に準備をして、1年生のための発表ではありましたが、とても慣れた様子で、楽しんで発表していました。アドリブまで入り、1年生のためにという姿勢と、2年生の成長がみられました。



★☆☆立志とは…☆☆★

栗島中学校では、総合的な学習の時間を「立志の時間」と呼び、テーマに沿って自ら課題を発見し、その課題について様々な角度から調べ、分析し、その課題について提言を行います。そして、その調べたことをもとに、自分の言葉にして発表します。その活動を通して、課題解決能力が高まり、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力が高まります。

ここで培った力は、栗島中学校の生徒の都立高校推薦における合格率が、都の平均よりも高い数値にも結びついています。

□ ■ 5組、新入生歓迎遠足 ■ □

4月25日(火)、5組全員で新入生歓迎遠足として、都立舎人公園に出かけました。区役所からバスを乗り継ぎ、舎人公園まで向かいました。1年生にとっては、初めての校外での活動となりました。公園内を散策し、レクリエーションをしたり、お弁当を食べたりして、とても良い時間を過ごしました。



○ ● 離任式 ● ○

4月28日(金)、令和4年度に異動された堀越先生、小林先生、羽富先生、赤松先生、田中先生、後藤先生をお迎えして、離任式を行いました。先生方から栗島中学校のみんなへメッセージを伝えていただきました。また、代表生徒からは感謝の手紙と花束を渡しました。

長年にわたって栗島中学校のために尽力されてきた先生方に感謝の気持ちを伝えるとともに、これからの栗島中学校をしっかり引き継いでいく決意を改めてすることのできた1日となりました。



●○6月の主な予定○●

2日(金)~4日(日) 3年修学旅行	5日(月)、6日(火) 3年振替休業
10日(土) 運動会	12日(月) 振替休業日
13日(火) 聴力検査	14日(水) 体力調査
16日(金) 色覚検査	19日(月) 到達度確認テスト1週間前(部活動停止)
19日(月)~23日(金) 学校公開	21日(水) 耳鼻科検診
22日(木) 進路説明会、部活動保護者会、新入生保護者説明会	
26日(月) 27日(火) 到達度確認テスト	28日(水) 水泳指導始
28日(水)~30日(金) 5組鋸南宿泊学習	